



# さくら 2004 夏

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第 3 号  
〒420-0962  
静岡県東 527 番地の 1  
特別養護老人ホーム 麻機園  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640

## 園長として思うこと

— 麻機園 園長 秋山 通一 —

麻機園は、昭和63年4月の開園から既に16年が経ちました。私も4代目の園長に就任し3年半になります。開園当初は職員も少人数で、職員が一丸となって入所者のお世話にあたる機会が多く、またそうしないと業務がスムーズに終了しないことが多かったように思えます。職種間の役割の垣根を越え、当時事務員だった私も、入所者の居室や浴室で過ごす時間も多く、入浴日には私にも介護の分担が与えられていました。今思えば、全員で26人の職員、入所者も50人、建物も2階建て全てがこじんまりした施設でしたが、家庭的な人と人との触れ合いがあったような気がします。



その後、福祉や介護に関する資格制度も始まり、介護福祉士や社会福祉士などのように、施設職員に必要な知識や技術を備えた卒業生を採用することも多くなり、また、業務経験をもとに介護支援専門員の資格取得する職員も多くなりました。無資格者の介護から資格を持った職員集団の介護へ、職員の様子も大きく様変わりしてきました。麻機園も年を追う毎に大きくなり、法人では新たな事業も開始し、法人全体では職員の数も当初の4倍近くになりました。

私たちの仕事の対象はお年寄りです。老人ホームはお年寄りを中心とした疑似家庭のようなものです。施設が大きくなっても、職員が増えても、介護の基本は人と人との触れ合いであり、家庭的な雰囲気の中にあるものです。単に仕事として日常生活の援助をするだけでは利用者はきっと満足しません、お気に入りの家族の一人になり、安心して全てを任せていただけるような職員像を目指すことが求められます。そのためには、介護現場の職員である前に、一人の人として自身の資質を高め、様々な知識や技術を身につけ、自分を磨き続ける努力が必要です。全ての職員がその性別、年齢、職種等の垣根を越えて、お互いに高揚することができるような職場環境作りをこれからも目指していきます。

## 私があなただのお部屋の担当です !!

麻機園では入所者のご家族が来園されたときに、各部屋の担当寮母（介護職員）がひと目でわかるよう、お部屋の入口などに写真と簡単な文章を添えた自己紹介を掲示することにしました。

いずれは事務所やデイサービスなどの全職員を紹介したのもも掲示する予定です。

皆様の力をお借りしながら、今後も“分かりやすく、過ごしやすい施設”になるよう努めてまいります。

麻機園の居室担当者は次のとおりです。(H16.7.1 現在)

◎寮母長	長島鈴江	○主任寮母	足立景子	☆寮母	杉山幸基	大和由美	下地綾子	芦口益枝
1階	102号室 木村 文	103号室 丸山賢久	104号室 影山綾子	105号室 小山加恵美				
2階	201号室 牧野晴美	202号室 佐藤勝洋	203号室 荻野章子	204号室 杉山自穂				
	205号室 佐々木陽子	206号室 下村慶司	207号室 原田 忍	208号室 高井沙織				
	212号室 佐藤正之							
3階	301号室 海野隆由	302号室 片井里美	303号室 漆畑正代	304号室 近藤とみ子				
	305号室 近藤とみ子	306号室 坂本 晃	307号室 寺尾美由記	308号室 森下恵美				
	309号室 坂本 晃	310号室 市川文彦	311号室 山本 忍	313号室 市川文彦				